宮

【3年】

10画

はねる

おん キュウ・グウ・ク　くん みや

なりたち 廊下でつなぐ部屋の形を表した呂と、家の意味の宀（うかんむり）との会意字。部屋が多くある立派な家を表した字で、〝君主の住む御殿〟の意味。宮門が九門あるので、宮を九と呼ぶ。転じて、〝神社〟の意味。

いみとじゅくご
▼君主や王の住む御殿。
宮城…君主の住む城。皇居。
宮殿…君主や国王の住む御殿。
宮廷…君主や国王の住む御殿の中。宮中。「廷」は庭の本字。
離宮…皇居以外に設けられた宮殿。
迷宮…❶中の構造が複雑で、一度入るとなかなか出られない宮殿。❷事件などが複雑で解決できないこと。例迷宮入り
行宮…君主が外出した時の仮の御殿。
▼皇后の御殿。また、皇后。
中宮…❶皇后の御殿。皇后。❷皇后と同位の后（きさき）。
▼皇族の尊称。
宮家…皇族の一家。
▼神社。おみや。
神宮…神社。特に伊勢（せい）神宮。

よみかた 宮司・宮内庁

宗

【6年】

8画

はねる

おん シュウ・ソウ　くん

なりたち 神の意味の示と、家の意味の宀（うかんむり）との会意字。先祖の霊を祭る家という意味の字で〝廟屋（びょう）（みたまや）〟を表した字。転じて、それをもつ〝本家〟の意味。また、〝中心・おおもと〟の意味。

いみとじゅくご
▼神仏の教え。宗教。
宗教…大本となる教えの意味。神や仏の存在を信じ、それを心の支えにしようとする精神活動。
宗旨…❶宗教で重要として説いている事柄。❷その人が信奉している宗派。
▼本家。おおもと。
宗家…芸道の流派などで、中心になる家。本家。
宗族…本家とその一族。本家と分家。
▼かしら。中心。
宗匠…和歌・俳句・茶道などの芸道の師匠。
宗主…頭（中心）として尊ばれる首長。
▼みたまや。

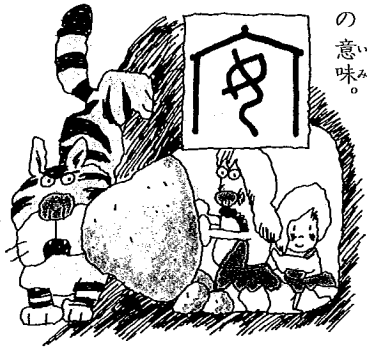
よみかた 宗徒・宗派・宗門・一向宗・改宗・浄土宗・真言宗・天台宗

安

【3年】

6画

おん アン　くん やすい



なりたち 家の形をかたどった宀（うかんむり）と女との会意字。家に女性がいて留守を守るので、安心して働くことができる。〝安心する〟こと。〝心が安まる〟ことを表した字。転じて、〝安っぽい・たやすい〟の意味。

いみとじゅくご
▼安まる。安める。
安心…心配することがなく、心が安まること。
安息…息を安める、という意味で、静かに休息すること。例安息日
慰安…心を慰め、安めること。例慰安旅行
▼安らか。危険が無い。
安全…危険が無いこと。危険を無くすこと。例交通安全
安泰…無事安全なこと。
治安…社会の秩序が保たれて穏やかなこと。用例治安の良い都市。
▼安っぽい。
安価…値段が安いこと。安っぽいこと。
▼たやすい。
安易…❶たやすくできること。❷物事を深く考えないこと。いい加減なこと。

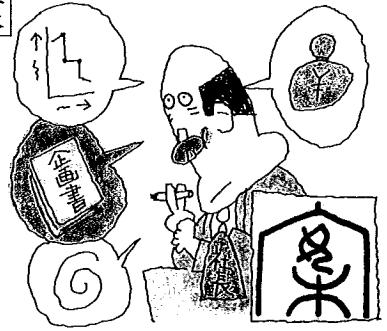
案

【4年】

10画

とめる

おん アン　くん



なりたち 安置する意味の安と、机の意味の木との会意形声字。物を安置する机を表した字。机は物事を調べる所であるから、〝調べる〟意味。また、〝考える〟意味に用いる。

いみとじゅくご
▼机。
案下…机の下の意味で、手紙の宛名（あて）にそえて書き、敬意を表す言葉。机下とも。
▼調べる。考える。考え。
考案…工夫して新しく考え出すこと。また、その新しい工夫。
思案…❶あれこれと考えること。❷色々と心配すること。例思案顔
提案…考えを提出すること。また、提出された考え。
懸案…問題として取り上げられているのに、解決がつかずにいること。用例長年の懸案の解決を見る。
妙案…うまい考え。
▼あらかじめ思っていたこと。
案外…思いの外。
▼下書き。原稿。計画。
草案…文章の下書き。草稿。